



MISATO Town Assembly

美郷町議会だより

2026 **7** No.79

発行／宮崎県美郷町議会

編集／議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1

TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

■町政を問う!

～第2回定例会一般質問～2～5P

■第2回定例会

補正予算を可決6～8P

■第3回臨時会

7月1日からの機構改革9P

■議会活動報告10P

■議会だよりモニター紹介

議員ひと言コーナー11P

■美郷町の元気づけと/編集後記12P

議会だよりはスマートフォンやパソコン、
タブレットからでもご覧になれます。



町民の安心、安全、財産を守るために、団長以下
団員一同団結して頑張ってまいります。



すえなが まさし こうだ いなお いわた しんいち
(末永政志 北郷分団長・甲田伊直 西郷分団長・岩田進一 南郷分団長)

おだ なおき なかがわ よしつぐ やまぐち しずお
(小田直樹 副団長・中川善嗣 団長・山口静雄 副団長)

町政を問う

一般質問

令和8年第2回定例会の一般質問は6月9日と10日に行われ、7名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次のとおりです。

また、本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧でき、一般質問もすべて見ることができますので、ぜひご覧下さい。

(議会終了後、会議録の調製等に3か月程度かかりますので、あらかじめご了承下さい。)



かわむら よしゆき
川村 義幸 議員

役場職員採用条件について

川村 美郷町役場職員を採用する時に、父母が職員として勤務している子供は採用しないと聞いているが、今後もこの条件を続けていくのか伺う。
また、この採用条件は採用規定にあるのか伺う。



町長

本町の職員採用試験実施要領には、親子関係や兄弟姉妹関係を理由として採用を制限する旨の規定を設けていない。採用試験は統一試験により、一般教養、作文試験、面接試験を実施し、公正で透明性のある選考基準に基づいて実施している。ただし、ご指摘の通り、過去において一部の職種(一般事務)で親子関係や兄弟姉妹関係にある者の採用を避けるという不文律(慣行)が存在していたと認識している。

しかし、現在はそのような不文律はない。受験資格を満たす者であれば、親子関係や兄弟姉妹関係の有無に関わらず採用試験を受験することができる。

町としては、今後の採用においても、親子関係や兄弟姉妹関係を理由とした採用制限はしないこととし、能力と適正に基づいた公正な選考を実施する。今後も、採用試験の公正性と透明性を確保しながら適切な職員採用に努めていきたい。

議会を見にこんね！

どなたでも傍聴できます。
お気軽に議場へお越しください！

※体調不良の方は傍聴をご遠慮願います。また、手指の消毒をお願いしております。

第1回定例会
の傍聴者数
31人

第1回臨時会
の傍聴者数
1人

※臨時会は一般質問を行いません。

次回定例会は、
9月4日(金)
開会予定です。



たはら けんじ
田原 謙二 議員

農林業への取り組みについて

田原 本町の主要品目である子牛と椎茸生産は、減少に歯止めがかかっていない。この状況をどのように受け止めているのか。今後どのような取り組みを考えているのか伺う。

町長 町の子牛・椎茸生産は、他の農産物と同様に高齢化、担い手不足、価格の変動により減少しており、少しでも減少に歯止めを掛ける必要があると思う。子牛・椎茸は歴史のある作物であり、町の支援も手厚いものと認識している。令和8年度は従来の事業を継続しているが、今後は何が有効な対策なのか、町全体の事業の見直しを行う。

農林業の所得向上対策について

兒玉 令和8年度施政方針において「循環型の農林業、持続可能な農林業を目指し、経済面からはもちろん、多面的価値による地域全体の生産性の上がる体制の構築を進めていく」とあるが、その対策は。

町長 地域にあるものを地域で活かし、地域で回す農林業を目指すもので、「環境を守る、生産を支える、暮らしを豊かにする」この3つの柱を軸として農林業の所得向上と地域経済の活性化につなげたい。

兒玉 遊休農地の利活用や新たな品目を加えた複合経営などによる、儲かる農業経営の支援体制について伺う。

町長 遊休農地の利活用は、南郷内竹地区を5か年計画で取り組み、複合経営については優良作物を選定している。儲かる農業経営の支援体制は、普及所やJAと連携して取り組む。

中山間地域等直接支払制度について

兒玉 令和7年度に第6期対策が始まったが、第5期対策と協定数や面積の推移について伺う。

町長 第5期対策から協定数で2、面積で52ha

田原 北郷の木炭生産は、Iターン者等の加入、定着により活気ある産業の維持に繋がっていると感じるが、これまでのIターン者への呼びかけの手法を伺う。

町長 当初は町が呼びかけたのではなく、口コミやIターン者が知り合いに紹介して自然と増えた。その後木炭指導者の会が設立され現在に至っている。

田原 金柑・ミニトマト等において就農希望者の募集、広報活動の実績があると聞いているが、その成果について伺う。

町長 現隊員を含め金柑・ミニトマト等で、地域おこし協力隊で4名、新規就農給付金事業での就農が和牛で6名、椎茸で1名の実績がある。就農者の確保は、喫緊の課題であり、町内外を問わず色々な手段を検討し募集していく。

ふるさと産業文化祭について

田原 令和元年実施を最後に中止となったふるさと産業文化祭は、本町にとって重要なイベントだったと考えるが、今後同様の開催について考えを伺う。

町長 農林産物の生産振興や町内外へのPRのためのイベントは大事なもので、今後生産者部会等と対話を進め、検討する。



こだま ごうし
兒玉 鋼士 議員

が減少している。

兒玉 第6期対策の加算措置であるネットワーク加算・スマート農業の取り組み状況は。

町長 スマート農業加算は、24協定がドローン防除、ネットワーク加算は南郷の3協定が統合、1協定では農業者以外の団体が参画して農業体験、交流人口の増加の取り組みを行っている。

兒玉 制度のメリット、デメリット及び交付金の返還行為について伺う。

町長 メリットは、交付金で農地維持や公益的機能が守れる。デメリットは、役員のなり手不足。交付金の返還対象行為（維持できていない。田で畦畔がない。）で、昨年度交付分48件が今年度返還予定となっている。



はやかわ せつお
早川 節夫 議員

作業道維持管理事業について

早川 本事業の要件が令和7年度に見直された。令和6年度までは個人負担額が1日当たり3,500円(重機使用料)とし、対象となる日数は1路線において制限なしであったが、令和7年度では1路線(上限5日まで)1日当たりの基準事業費を4万円とし、その内3/4を町が助成、残りを個人負担額とされている。この事を踏まえ2点伺う。①令和6年度と令和7年度の本事業の実施件数を伺う。

町長 令和6年度は94件、令和7年度は30件である。

早川 ②現状で重機を使用した補修整備となれば、重機借上料(オペレーター込み)だけで1日当たり39,000円となり、更に重機の移送料やその他の諸費用等が発生することで個人負担額は増加している。この事は、事業者の森林整備が停滞するだけでなく、森林資源がもつ多面的な機能の低下をも懸念される。本事業の要件を見直し、森林整備の維持・促進に努める必要があると思うが、町長の考えを伺う。

町長 現在の制度における、今後の森林整備の影響を見極めて、負担の在り方を検討する。

林内作業路(2m) 開設事業について

早川 対象事業の補助金(500円/m)の交付先について、山主やその他施工業者を選択する事は出来ないか伺う。

町長 作業路(幅員2m以外も含む)の補助金は、原則、森林所有者が申請者になる。当然ながら申請者に補助金を交付する事になる。但し、申請者の委任があれば申請者以外の工事施工者などに補助金を支払うことが可能である。



中学部活動の地域移行(展開)について

若杉 町内3校の進捗状況について伺う。

教育長 国や県の方針に沿う形で一部の部活動を除いて、休日拠点校方式を導入している。

若杉 今後のスケジュールを伺う。

教育長 拠点拠点校方式を継続しつつ、令和13年度までに美郷町ならではの持続可能な体制を整備したい。

不登校問題について

若杉 本町の現状と不登校が懸念される生徒に対する基本的な対応を伺う。

教育長 本町においても現在、数名の不登校傾向にある児童生徒が存在している。その場合無理やり登校させる指導ではなく、『リモート授業』参加など児童生徒に寄り添った対応ができる体制を整えている。

若杉 過去も含めて、いじめが原因と思われる不登校が存在したか伺う。

教育長 人間関係のトラブルについては早期に対応している。直接的な原因となったケースは無いと認識している。

町内の伝統郷土芸能保存会の現状と今後について

若杉 6月に発足予定の『みやざき神楽保存



わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員

継承連合会(仮称)』への本町保存会の加盟見込みを伺う。

教育長 町内には8つの神楽保存会があるが、全て加盟見込みと聞いている。

若杉 連合会発足の理由の一つに、保存会ごとの活動が中心で横のつながりの確保が課題とある。本町の現状と対策を伺う。

教育長 補助金による支援は行ってきたが、横のつながりについては充実を図る必要があると考える。県連合会の発足を受け、町単独での情報交換の場を開催したい。

若杉 町が保存事業の対象としている、臼太鼓・浦安の舞・盆踊り等にも同様の取り組みが必要と考えるが伺う。

教育長 先程の情報交換の場に、神楽以外の保存会の参加も呼びかけたいと考える。



なす とみしげ
那須 富重 議員

農業用水路の整備について

那須 町内の水田かんがい用水路が老朽化、自然災害等により整備が必要であると考えるが、現状について伺う。

町長 農業用水路については、老朽化が進行しており、その維持修繕に多くの労力を要しているところである。

那須 本町の農業用水路はさらに老朽化し、施設の効率的な保全と更新が必要となっている。全町的な問題と考えるが、今後どのように取り組むのか伺う。

町長 現在、国の支援制度を活用し、地域の管理団体による自主的な保全活動に取り組

んでいただいている。大規模な改修や、整備が必要となる場合には、町単土地改良事業、県単土地改良事業、防災減災事業、中山間総合整備事業など、各種事業で対応していく。

ふるさと納税について

那須 ふるさと納税が令和6年度の全国合計で1兆2700億円になっている。このふるさと納税について、町長の考えを伺う。

町長 本町の魅力を全国へ発信し、地域産業の振興や地域経済の活性化につなげる重要な施策であると認識している。

那須 今後の取り組みについて伺う。

町長 今回の組織改編で、一体的に推進できる体制になり、統一感のある情報発信をし、積極的に取り組んでいく。

南郷診療所について



那須 南郷診療所の2階、3階が空いている。今後の利活用について伺う。

町長 現在、眼科診療の診察室として使用している。今後は住民の皆さんや関係機関の意見を広く伺い、医療福祉の用途や、新たな行政需要への転用も含め総合的に検討していく。

学校の部活動を含めた情操教育について

山本 令和6年度、町内3つの義務教育学校が部活についてアンケートを行なったところ、運動部に混じって、音楽が出来る文化部を希望する意見が少なからずあったようだ。運動の苦手な子供も当然いる。新たに、吹奏楽部のような文化部を設け、子供達の選択肢を増やす考えはないか。

教育長 吹奏楽部のような部活動について検討したい。本年度においては、地域を主体とした総合文化クラブの発足に向けて取り組んでいきたい。

「美郷町を世界に誇れるまちにする」とした決意について

山本 世界に誇れる町にするために、どのような施策を進めていくのか。

町長 本町は急峻な地形等、厳しい条件下、人との繋がりの中で支え合いの精神が育まれて、繋がり文化がある。「繋がり文化」が世界に誇れる宝だと確信する。この宝を核に、神楽などの伝統文化や栗、金柑、椎茸、梅などの農産物、さらに、美しい自然環境に光を当て磨き上げていきたい。



やまもと ふみお
山本 文男 議員

山本 厳しい環境の中、農業や林業を複合的にやり、棚田などの美しい景観や神楽などの伝統文化を保持し続けてきたことが評価され、高千穂町、五ヶ瀬町、日之影町、椎葉村、諸塚村で構成する「高千穂郷・椎葉山地域」が2015年、世界農業遺産に認定された。近隣に、このような地域がある中、後発で同様の切り口でアピールしても世界に誇れる町にすることは厳しいと考えるが。

町長 「高千穂郷・椎葉山地域」の取り組みを参考にしながら、美郷町ならではの魅力を磨いていきたい。



令和8年度一般会計予算補正予算

補正額 7億7,162万円(増額)

可決

令和8年第2回定例会は、6月8日から6月17日までの10日間開催され、補正予算をはじめ、工事請負契約等、計29件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算	条 例	工事請負	その他
5件	4件	5件	15件

農業委員会委員の任命について(14名)

原案同意

農業委員会の委員の任期が令和8年7月19日で任期満了を迎えるため、新たな農業委員14名が任命されました。

地域の信頼も厚く、美郷町の農業の発展に尽力したいという意欲をもった方であることから適任であり、「美郷町農業委員候補者選考委員会」においても、候補者として決定されました。

議会として、全件(14名)を原案のとおり同意しました。

「農業委員」とは…

町内在住の方で農業の知識を持ち、農地を効率よく活用することや、農業委員会の様々な仕事を適切に行える人のこと。農地の売買や転用の許可などに関わります。



令和8年度予算等審査特別委員会

今回の補正予算は「令和8年度予算等審査特別委員会」が設置され、議長を除く10名の委員によって審議されました。

委員会内で、注目された内容を抜粋して掲載しています。

町有害鳥獣対策協議会運営補助金

事業費:32,514千円

シカやイノシシなどの野生動物による農作物被害が増加しています。美郷町では、この被害を減らすため、有害鳥獣捕獲班(12班)の活動を支援しています。

【捕獲班の活動内容】

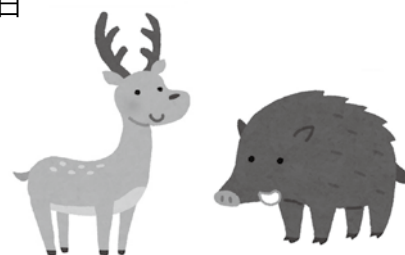
- ・毎日、シカやイノシシなどを捕獲
- ・農地を守るための活動
- ・年間365日、活動を継続

【出勤報酬】

- ・捕獲班の活動日数：365日
- ・1班あたり：1,000円/日
- ・12班が活動

【捕獲報償金の内訳】

- ・シカ：1,500頭 × 1頭11,000円
- ・イノシシ：1,000頭 × 1頭10,000円
- ・サル：20頭 × 1頭50,000円
- ・その他(アナグマ、カワウ、カラス等)



※議案一覧・議決結果は、ホームページでご覧になれますが、QRコードでも簡単にご覧になれます。



議案一覧



議決結果

狩猟免許取得促進補助金

事業費:145千円

野生動物による農作物被害を防ぐには、狩猟免許を持つ人が必要です。
美郷町では、新しく狩猟免許を取得する人を応援しています。

【支援内容】

- ・ 銃猟免許取得費用の一部を補助
- ・ わな猟免許取得費用の一部を補助
- ・ 狩猟登録・銃所持許可の費用も対象

【対象者】

- ・ 新しく狩猟免許を取得する人
- ・ 農業従事者や狩猟に興味がある人



【補助額】

- ・ 銃猟免許：約7万円の補助（2人が取得予定）
- ・ わな猟免許：約8,000円の補助（5人が取得予定）

美郷の自慢づくり推進事業(6次産業化)

美郷の商品を全国へ「売れる商品づくり」を応援!! 事業費:8,960千円

美郷町の農産物や特産品を、もっと多くの人に知ってもらい、売上を増やすための事業です。

①「商品を育てるセミナー」

- ・ 商品の売込み方法を学ぶ
- ・ 営業ツール(チラシ・パンフレット等)の作成方法
- ・ 各事業者の強みと弱みを整理

②「新商品開発・販路拡大支援」

- ・ 東京都での展示会に出展
- ・ 専門家による伴走支援
- ・ 売れる商品づくりをサポート

③「特産品PR」

- ・ ふるさと納税ポータルサイトでのPR
- ・ 知名度向上による売上向上

④「県内物産イベント開催」

- ・ 商品や事業者のPR
- ・ 顧客の獲得

⑤「6次産業化推進の検討」

- ・ 先進地視察
- ・ 今後の方向性を検討



今さらだけど…
「6次産業化」って何？

「6次産業化」 とは……………

「農業」「加工」「販売」を組み合わせ、農産物の付加価値を高める経営方法です。
” 農業(1次)+ 加工(2次)+ 販売(3次)= 6次産業 ”

【メリット1:地域経済の活性化】

農家の売上が増える
→ 地域全体の経済が活性化

【メリット2:雇用の創出】

加工・製造・販売スタッフが必要
→ 新しい仕事生まれる

【メリット3:知名度向上】

「美郷町の特産品」として全国で販売
→ 観光客が増える

【メリット4:若い世代の定住】

稼げる農業 = 若い世代が地元に残る
→ 地域の活性化

令和8年度予算等審査特別委員会

6月16日に現地調査を行いました。改修工事される箇所を調査しました。



北郷入下地区 ゲートボール場



北郷小原地区 ゲートボール場



美郷レイクランド 残留塩素濃度監視装置



西郷義務教育学校 軒天の状況

ポイント 令和8年度補正予算等に対する付記事項

- ① 来年度開催される国スポ・障スポの成功に向けて、全町を挙げて取り組みを推進すること。
- ② 公共施設のトイレについては、高齢者や利用者の利便性向上及び衛生環境の改善を図るため、和式から洋式への計画的な更新を推進すること。
- ③ 町主催のイベントについては、実績、参加者の反応、事業効果、関係者の負担等を客観的に評価し、透明性のある会議において継続・廃止を判断すること。
- ④ ちくせん事業については、町全体で推進する重要事業として位置付けられていることから、第2期で未実施となった10地区に対しても、引き続き関連情報の共有を図ること。
- ⑤ 高齢者福祉施設改修工事費(北郷小原地区ゲートボール場整備工事)については、既存施設の現況を十分に精査した上で、再整備とならないよう効果的な工事实施に努めること。

令和8年第3回臨時会が、4月30日に開催され、専決処分の承認3件、条例1件、補正予算2件、合計6件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算	条 例	工事請負	その他
2件	1件	0件	3件



役場の組織が
変わります！

7月1日から、より専門的で
わかりやすい体制に！

美郷町役場では、次の3つの理由により7月1日から組織を改編します。課が2つ増え、それぞれの課がより専門的に仕事を進めます。

○改編の理由

- ①安心安全な生活の基盤となる福祉、健康づくり、こどもに関する施策に取り組むため。
- ②町の基幹産業である農林業振興体制の充実を図るため。
- ③町の重要施策を戦略的に推進する体制と、商工業の振興を専門的に推進する体制を確立するため。

【福祉・健康・子ども関連】

現在	7月1日から
町民生活課	町民課 住民票や各種証明書など、身近な手続きを担当。
健康福祉課	福祉課 高齢者や障がい者の支援に専門的に対応。
	健康こども課 子どもの健康や子育てを一元的に管理。 国の子ども支援が増える中、より充実したサービスを提供。

【農林業振興関連】

現在	7月1日から
農林振興課	農政課 農業の担い手確保や新規就農支援に集中。
	森づくり課 林業の再造林推進や森林資源の活用に集中。 美郷町の豊かな自然を守り、活かす。

【企画・政策関連】

現在	7月1日から
企画情報課	総合政策課 美郷町全体のビジョンを示す計画づくり、デジタル化、広報を担当。
政策推進室	商工政策課 商工業や観光の振興に専門的に対応。地域経済を活性化させる。

Aコープの経営状況と今後について

— 広聴部会での意見交換 —

令和8年4月23日、美郷町議会広聴部会では、Aコープの経営状況に(株)Aコープみやざき及びJAみやざき日向地区本部の皆さんと意見交換会を行いました。



Aコープの現状

県内34店舗（食料品30店舗、衣料品2店舗、書籍2店舗）を運営しており、売上は160億円、従業員は約1,000人。しかし、人口減少や買い物行動の変化により、経営が厳しい状況にある。

美郷町内の3店舗（北郷・南郷・西郷）の令和6年度決算で18,548万円の赤字。マイカーの普及により、日向市などの大型店舗へ買い出しに行く住民が増え、Aコープの利用者が減少していることが主な原因となっている。

『 経 営 課 題 』

- | |
|---------------------------|
| ①売上減少…大型店舗との競合、利用者の減少 |
| ②人員不足…最小人数での運営、店長を複数店舗で兼務 |
| ③施設老朽化…補修を繰り返す状況 |
| ④営業時間短縮…店舗によっては土日休業 |

議員からの意見

○北郷内でAコープだけが生鮮食品を販売しており、**高齢者や交通弱者にとって生活に欠かせない施設である。**

○赤字であることや人口減少傾向を踏まえると、利益を見込める状況にあるとは言えない。

しかし、Aコープには長く使える店舗として残ってほしい。

○南郷地区で個人的に宅配業務をしたい方がいるので、相談を受けていただきたい。

○八菜館（生産者直売所）との連携で売上が伸びている事例を参考に、地域農産物の活用を強化してはどうか。

JAからの要望

○経費圧縮のための地域おこし協力隊の活用（店長業務など）

○施設の老朽化対応や新しい機械導入などの設備投資への初期投資支援。

○節電・節経費の観点からの支援をしてほしい。

○美郷町商工会への入会をお願いしている。

【考 察】

地域住民からは、Aコープについて「品揃えの減少」「営業時間の短縮」「利用者の減少」など、経営面に対する不安の声が多く寄せられている。

一方で、「Aコープは中山間地域の高齢者にとって身近な買い物の場であり、存続してほしい」といった意見も多く、地域生活を支える重要な施設としての役割が改めて認識されている。

Aコープの存在意義は、単なる収益性のみで判断されるものではなく、協同組合としての「組合員のための事業」としての公益的・地域的役割を踏まえて評価されるべきと考える。今後、JAと行政が連携し、Aコープが地域に必要とされ続ける店舗となるよう、検討を進める。



令和8年度 広報モニターさんを紹介します！

美郷町議会では、広報紙「議会だより」の企画・編集・議会に関する広報活動全般に対する町民の皆さまからのご意見やご要望をお聴きし、議会だよりの内容をより一層充実させるとともに、町民に開かれた議会を目指します！

令和8年度の「議会広報モニター」に就任された方々です。



南郷 今西 初子さん



西郷 橋口 美帆さん



北郷 右田 琢磨さん

モニターさんからいただいたご意見

- 新たな議会構成となり、新人議員の方がどのような質問をされるのか注目して記事を読みました。
- 表紙に限らず、町民の顔が載っているとほっこりします。
- 新体制へ臨む議会構成員の方の責任感溢れる思いが、表情から伝わりました。
- 元気づきのコーナーはいいですね！町民も関心、興味があると思います。

議員のひと言コーナー

第5回九州農業ウィーク

おの かずひさ
小野 和久 議員



九州最大級の農業畜産の展示会が、5月末にグランメッセ熊本で行われたので、小川受託組合のメンバー数名と行ってきました。

農業・畜産の最新トピックを取り上げたセミナーや中山間地域の未来の農機フォーラム・展示・実演イベントなど見学し、談話させていただきました。

途中、花水流農地管理組合の方達とも遭遇しました。

地元を思い、お互いに頑張っているといいなあと思います。

にわとり物語No.1

ひだか りゅういち
日高 隆一 議員



趣味の一つとして鶏を飼っています。インターネットで有精卵を購入して孵卵器で雛を孵しています。

鶴は長寿、鷹は権力、鴛鴦は夫婦和合と象徴的な意味があるそうです。鶏は時を告げる神聖な鳥だそうですが、わが家は毎日、朝昼晩うるさいくらいに鳴いています。

世間では色々な事件や事故が報道されている昨今、鶏だけでも「ケッコーケッコーコケコッコー」と美郷を鼓舞してほしいものです。

猛暑の予感

たばる けんじ
田原 謙二 議員



新人議員となり5か月が過ぎようとしています。まだまだ勉強不足で先輩諸氏からのアドバイスを頂きながら日々取り組んでいます。

3月及び6月議会で一般質問にも立たせて頂きましたが、なかなか要領を得ず議長をはじめ皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

うっとうしい天気が続いていますが、その後は昨年以上に熱くなると予報も出ています。

どうか皆様お身体ご自愛くださいますように。

第29回

美郷町の元気びと

『夢は農林水産大臣賞!!』

西郷上野原地区 田村 一平^{たむら いっぺい}さん



田村一平さん（35歳）は、西郷上野原地区でミニトマトハウス43aを家族で経営しています。

ミニトマトを生産するきっかけを教えてください。

生まれた時からミニトマトと一緒に育ち、幼い頃から家業を手伝い、中学生の頃には既に跡継ぎになることを決めていました。

就農されてどのくらいですか？

門川町で1年間研修を受け、西郷で就農して17年目になります。

ミニトマトの栽培について教えてください。

7月から育苗のための作業が始まり、定植が盆明け、10月中旬頃から翌年6月末ごろ収穫が続きます。ほぼ1年を通して仕事が途切れることなくあります。

今後の目標を教えてください。

中山間地域でミニトマトを栽培する厳しさや悔しさを糧に農林水産大臣賞を目指します。

また、地域に貢献できるような存在になりたいです。

お忙しい中、取材へのご協力ありがとうございました。ナンバーワンのミニトマトハウス農家を目指して、頑張ってください！

（取材 小野 和久）



美郷町の元気びと募集!!

美郷町議会だよりでは、**美郷町で活動している元気な人「元気びと」**を募集しています。ぜひ、ご一報いただければ取材に伺います。自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております!!

議会事務局
TEL(0982)66-3607



田村さん自信作のミニトマト

編集後記

6月議会定例会が終了し、議会の広報「議会だより」を皆様にお届けします。議会での議員の行動や発言、委員会の審査内容などを皆様にご理解いただければ幸いです。

議決された議案はいずれも住民生活に直結する大事なものです。出来るだけ、議員の発案による編集を心がけていますが如何でしょうか。これからも開かれた議会活動の為に日頃より、議員の皆さんを通して、町民の皆さんのご意見をお届け下さい。お待ちしております。

那須 富重

（編集）

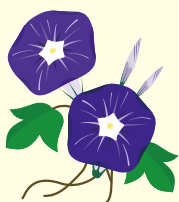
美郷町議会

広報広聴特別委員会

広報部会

部長……川村 義幸
委員……那須 富重
兒玉 鋼士

オブザーバー
小野 和久
日高 隆一
山本 文男



※この議会だよりは1部 39.4円でできています。